

報道関係者の皆様へ

2015 年 5 月 吉日

## 6 月 16 日は和菓子の日

6 月 16 日は「和菓子の日」です。とらやでもこの日にちなんだ商品を期間限定で販売いたします。  
「和菓子の日」について、とらやの菓子とともにご案内いたします。

### ★「和菓子の日」の由来

6 月 16 日は「和菓子の日」。この記念日は、昭和 54 年(1979)に全国和菓子協会が制定したものです  
が、そのルーツは「嘉祥」という行事にあります。菓子が主役の行事で、江戸時代には公家や武家  
から庶民まで厄除招福を願って菓子を食べました。

### ★「嘉祥」と和菓子

嘉祥の由来は諸説あり、平安時代の仁明天皇の御代から始まる招福・厄除けの行事とも言われま  
す。室町時代には6月16日に行われるようになり、江戸時代に広まり、明治時代に途絶えました。

室町時代の武家ではこの日楊弓ようきゆうを行い、負けた者は中国の「嘉定通宝」16枚で食べ物を購あがなって、  
勝者をもてなしました。嘉と通が「勝かつ」に通じることから、武家に尊ばれたのです。

江戸幕府は嘉祥を重要な行事と位置づけ、江戸城の大広間に饅頭・羊羹など約2万個を並べ、将  
軍が大名・旗本へ菓子を与えました。

庶民の間でも同じ日に菓子などが食べられていました。井原西鶴『諸艶大鑑』(1684)には、京  
都島原の嘉祥喰いの場面が見え、とらやの羊羹など16種の食べ物が用意されています。



「千代田之御表 六月十六日 嘉祥ノ図」：江戸城内で菓子が配られている様子が分かる。虎屋所蔵  
<参考資料>

中山圭子『事典 和菓子の世界』/ 青木直己『図説 和菓子の今昔』

とらやでは、下記の商品を販売いたします。(価格はすべて税込です)



◆ 『<sup>かじょうむしやうかん</sup>嘉祥 蒸羊羹』

夏負けの防止効果があるとされる黒砂糖を加えおつくりした小倉の蒸羊羹です。

販売期間 : 2015 年 6 月 1 日(月)～6 月 16 日(火)

販売店 : とらや全店 (一部店舗を除く)

価格 : 1 本 2,268 円



◆ 『<sup>かじょうまんじゅう</sup>嘉祥 饅頭 3 個入』

風味の異なる 3 種 (黄の薯蕷饅頭、紅の新饅、茶の利休饅) のお饅頭です。それぞれに嘉定通宝の朱印、小槌形の焼印、「全国和菓子協会」マークの焼印を押してあります。

販売期間 : 2015 年 6 月 10 日(水)～6 月 16 日(火)

販売店 : とらや全店 (羽田空港売店を除く)

価格 : 1 箱 1,080 円



◆ 『<sup>ふく</sup>福こぼこ』

道明寺製「なりひさご」、煉切製「はね鯛<sup>だい</sup> (紅・白)」、「御目出糖<sup>おめでとう</sup>」の 3 種類。縁起の良いお菓子を詰め合わせました。

販売期間 : 2015 年 6 月 10 日(水)～6 月 16 日(火)

販売店 : 全直営店・新宿伊勢丹・アトレ目黒 1・

玉川高島屋 S・C・横浜そごう・

京都高島屋・大丸京都店・

ジェイアール京都伊勢丹

価格 : 1 箱 1,923 円



◆ 『<sup>かじょうがし</sup>嘉祥 菓子 7ヶ盛』(要予約)

<sup>かわらけ</sup>土器に盛った 7 種類の嘉祥菓子は、江戸時代末期御所にお納めしていたものをもとにおつくりしています。

予約承り期間: 2015 年 6 月 1 日(月)～6 月 12 日(金)

お渡し日 : 6 月 14 日(日)・15 日(月)・16 日(火)

店頭販売 : 6 月 16 日(火)

販売店 : 全直営店(御殿場店を除く)・新宿伊勢丹・

アトレ目黒 1・玉川高島屋 S・C・

横浜そごう・京都高島屋・大丸京都店・

ジェイアール京都伊勢丹

価格 : 2,808 円

\*取材に関する問い合わせ先\* 株式会社 虎屋 社長室 広報課 関井藍子  
住所: 東京都港区赤坂 4-9-22 電話: 03-3408-4128 FAX: 03-3796-1548  
E-mail: [kouhou@toraya-group.co.jp](mailto:kouhou@toraya-group.co.jp) <http://www.toraya-group.co.jp/>